

I 平成29年度事業計画

九州の中核都市福岡に本拠を置く九州交響楽団は福岡県から公益法人の認定を受け、国、福岡県、福岡市、北九州市、地方公共団体、産業界、市民の助成を得て、平成29年度も福岡県を中心に公益目的事業として演奏活動を行い音楽文化の向上発展普及に努める。

なお、公益目的事業は、九州交響楽団が自ら企画・主催する<主催公演>と鑑賞団体、企業、学校などからの依頼を受け出演する<依頼演奏会>に分けられる。

そのほか、収益事業として、コンサート等でCD等の販売を行う。

(1) 主催公演

主催公演は、九響自ら企画し、福岡県民市民に幅広く告知・販売し、公演を行い、クラシック音楽の魅力を市民に伝える公演である。

福岡市内では、以下の22公演を実施する。

三本柱のシリーズとして

- ① <定期演奏会> (9公演)
- ② <天神でクラシック> (4公演)
- ③ <名曲・午後のオーケストラ> (4公演)

その他のシリーズとして

- ④ <親と子のためのコンサート> (1公演)
- ⑤ <ニューイヤー・コンサート> (1公演)
- ⑥ <三大交響曲の夕べ> (1公演)
- ⑦ <アクロス一万人コンサート> (2公演)

① <定期演奏会>

<定期演奏会>は九州唯一のプロ・オーケストラとして、九響の持つ高い音楽性・実力をクラシック音楽ファンに提供する<芸術型>シリーズと位置付ける。これまで九州で取り上げることのなかった作品、アジアの芸術家の紹介にも努める。(9公演)

●特徴としては

- (i) 小泉音楽監督の九響定期デビュー40周年を記念して平成29年10月に大曲「カルミナ・ブラーナ」を取り上げる。
- (ii) <ワーグナーの巨匠>として知られる指揮者セバスティアン・ヴァイグレ、飯守泰次郎を平成29年7月と平成30年2月に招聘し「ワーグナー作品」を披露する。

(iii) アジアに近い九響として、平成 29 年 11 月に中国から指揮者リ・シンサオを招聘する。

② <天神でクラシック>

<天神でクラシック>は、トークを入れ、クラシック音楽を普及させることを目的にした<啓蒙型>シリーズと位置付ける。(4公演)

●特徴としては

- (i) 平成 29 年 5 月には篠崎史紀が<ウィнна・ワルツ>を、7 月には指揮者飯森範親が<大河にまつわる音楽>を、11 月には指揮者中井章徳が<オペラの管弦楽>をテーマに、それぞれ独自の語りを入れ演奏する。
- (ii) モーツァルトの誕生日である 1 月 27 日には、九響永久名誉指揮者のご子息で長いことベルリンフィルのコンサートマスターを務めた安永徹を迎え、毎年恒例の<モーツァルト・プログラム>を開催する。

③ <名曲・午後のオーケストラ>

平成 27 年度より開催している<名曲・午後のオーケストラ>は、子供からお年寄りまで来場しやすい午後 2 時に開演し、誰もが耳にしたことのある名曲を集め、多くの市民に楽しんでいただくことを目的とした<市民大衆型>シリーズと位置付ける。(4公演)

●特徴としては

- (i) 指揮者には大友直人、小泉音楽監督、小林研一郎などの著名な指揮者を起用し、6 月に交響曲<英雄>、9 月に組曲「展覧会の絵」、12 月に「第九」、2 月にドヴォルザーク交響曲第 8 番などの名曲を披露する。
- (ii) ソリストには平成 29 年 6 月に、ウィーンフィル史上初の女性コンサートマスターとして話題のアルベナ・ダナイローヴァ、平成 30 年 2 月に日本を代表するピアニ奏者清水和音などを迎える。

④ <親と子のためのコンサート>

平成 25 年度から開催している<親と子のためのコンサート>は、未来のクラシック音楽ファンである子供に音楽の喜びを体験してもらう<子供教育型>コンサートと位置付ける。(1公演)

●特徴としては

- (i) 平成 29 年度もテレビでお馴染み青島広志の指揮とお話で、クラシック音楽からアニメソングの音楽までを取り上げる。
- (ii) 子供が直接楽器に触れることにより、より音楽が身近に感じられる様、開演前に<楽器ふれあいコーナー>を設ける。また楽団員も協力し子供たちを指導する。
- (iii) 平成 29 年度も「ウエスト」から冠協賛の支援を受けることが出来た。

⑤ <ニューイヤー・コンサート>

<ニューイヤー・コンサート>は、新年にふさわしく家族でクラシック音楽を楽しめる<大衆型>コンサートと位置付ける。(1公演)

●特徴としては

- (i) 現田茂夫の指揮とお話しに加え、ゲストには若きソプラノの吉原圭子を迎える。
- (ii) 内容は、ウィнна・ワルツ、オペラ・アリアを中心に楽しいプログラムを企画する。
- (iii) アクロス福岡公演では九響合唱団が出演する。

⑥ <三大交響曲の夕べ>

<三大交響曲の夕べ>は、昨年度まで主催公演を開催していなかった8月に、小中高校生を含む幅広い市民が、極め付けの交響曲3曲「新世界・未完成・運命」を1日にして楽しむよう企画した。なお<三大交響曲の夕べ>は今後も夏の風物詩として市民に定着させるため告知活動に努めていく。

⑦ <アクロス一万人コンサート>

<アクロス一万人コンサート>は、アクロス福岡が青少年を対象として企画している公演であるが、平成29年度もアクロスと協力し、共催事業として実施する。(2公演)

北九州市では、以下の4公演を実施する。

北九州市での公演は、福岡県北東部のクラシック音楽普及を目的とした<地方普及型>コンサートと位置付け4公演実施する。

- ① <北九州定期演奏会> (2公演)
- ② <第九の夕べ> (1公演)
- ③ <ニューイヤー・コンサート> (1公演)

① <北九州定期演奏会>

●特徴としては

- (i) プログラムは基本的に福岡での公演と同じであるが、平成29年5月は地元北九州市出身のヴァイオリン奏者篠崎史紀を起用し、指揮とヴァイオリンを披露する。
- (ii) 9月に九響名誉客演指揮者小林研一郎も登場する。

② <第九の夕べ>

●特徴としては

- (i) 指揮者に音楽監督小泉和裕が2年ぶりに登場する。
- (ii) 合唱には地元の誇る「北九州市民フロイデコール」が登場する。

③ <ニューイヤー・コンサート>

●特徴としては

- (i) お馴染み現田茂夫が指揮と巧みなお話を展開する。ソプラノでは一昨年体調不良で出演を取りやめた小林沙羅が登場する。また、地元北九州の奏者もゲストに迎える予定である。
- (ii) ウィンナ・ワルツ、オペラ・アリアを中心に楽しいプログラムを企画する。

久留米市における定期演奏会は休止する。

久留米定期演奏会は、福岡県中南部でのクラシック音楽の普及を目的とし実施してきたが、文化庁の助成が打ち切られ安定した収入が得られないこと、一定の集客が望めないことなどの理由により、平成 29 年度から休止することとした。

(2) 依頼公演

依頼公演は、<主催公演>以外、鑑賞団体、企業、学校などから公演の依頼を受け出演するコンサートである。

平成 29 年度の大きな依頼公演では、平成 17 年度から始まった「福岡県市町村振興協会」主催の中学生を対象とした公演を引き続き平成 29 年度も 29 公演実施する。

新規事業として、北九州において「アニソンクラシック」1 公演、熊本において「ハウス食品ファミリーコンサート」1 公演を実施する。平成 28 年度に大分県立総合文化センターから依頼を受け 1 公演実施したが、平成 29 年度も引き続き 1 公演実施する。平成 27 年度から始まった「日生劇場公演」は 1 公演増え、平成 29 年度は 3 公演実施する。今後も 29 年度内において、依頼がある場合市民のニーズに応え公演を実施するつもりである。

なお、熊本震災から 1 年目にあたる 4 月 14 日に「熊本地震復興コンサート」に出演する。

一方、オーケストラ業務に支障のない範囲で《室内楽》演奏を実施する。この《室内楽》も<依頼公演>に含まれる。

前述、<主催公演>、<依頼公演>は、公益法人の公益目的事業区分において[1]定期演奏会、[2]巡回演奏会、[3]特別演奏会、[4]移動音楽教室、[5]依頼演奏会の 5 種類に分類している。

※[4]移動音楽教室について：《移動音楽教室》も依頼を受け実施する<依頼公演>であるが、情操教育を目的とした公演であり《移動音楽教室》に分類している。

公益法人における公益目的事業区分は以下のとおり。

[1] 定期演奏会（11 公演：福岡市 9 公演、北九州市 2 公演）

福岡市での

<定期演奏会>（9 公演）

北九州市での

<定期演奏会> (2公演)

[2] **巡回演奏会** (11公演：福岡市9公演、北九州市2公演)

福岡市での

<天神でクラシック> (4公演)

<名曲・午後のオーケストラ> (4公演)

<ニューイヤー・コンサート> (1公演)

北九州市での

<第九の夕べ> (1公演)

<ニューイヤー・コンサート> (1公演)

[3] **特別演奏会** (4公演：福岡市4公演)

福岡市での

<三大交響曲の夕べ> (1公演)

<親と子のためのコンサート> (1公演)

<アクロス一万人コンサート> (2公演)

[4] **移動音楽教室** (2公演)

[5] **依頼演奏会** (116公演：オーケストラ公演：76公演、室内楽演奏：40公演)

<参考>公演数一覧

	平成29年度計画	平成28年度計画	回数増減
定期演奏会	11回	11回	増減なし
巡回演奏会	11回	11回	増減なし
特別演奏会	4回	4回	増減なし
移動音楽教室	2回	2回	増減なし
依頼演奏会	76回	88回	12回減※
合計	104回	116回	12回減

※中学生公演13回減、その他公演1回増

	平成29年度計画	平成28年度計画	回数増減
室内楽	40回	40回	増減なし